

Project:	2 nd EU-Japan-Asia Journalists Conference (Nagoya, Japan)
Publication:	JIJI Press
Title:	京都議定書に続く対応必要＝排出権でEUとの連携も視野－環境省審議官
Author:	Yasuhisa MATSUMOTO, 松本 泰久
Date:	2005/04/19-19:29

京都議定書に続く対応必要＝排出権でEUとの連携も視野－環境省審議官

環境をテーマに、メディアの役割や持続的経済成長に向けた課題などを議論する「第2回日本・欧州連合（EU）・アジアジャーナリスト会議」の実質的な討議が19日、名古屋市内で始まった。基調講演では、環境省の松本省蔵地球環境審議官が、2月に発効した京都議定書の課題や日本の取り組みなどを紹介した上で、気候変動問題に対応するため、京都議定書に続く次の行動を起こす必要があると強調した。

また同審議官は講演後の質疑応答で、排出権に対する日本の対応を聞かれ、EUに比べ遅れているとし、「国内で排出権取引のノウハウを蓄積することが必要だ」と指摘。その上で、「EUの排出権取引との連携も視野に入れていく必要がある」と述べた。

会議は、駐日欧州委員会代表部とアジア欧州財団（ASEF）が共催。日本の各メディアのほか、EU加盟各国、東・東南アジアなどから、約50人のジャーナリストが参加し、20日までの日程で開催される。（了）